

講習会の内容について印象に残ったキーワード

⑦車いす保守並びに点検技術(AM)	⑦車いす保守並びに点検技術(PM)	⑧車いす機能分類からの選定	⑨車いす人体的観点からの知識と選定	⑩車いす機械的観点からの知識	⑪内容確認(総合) 二日間座学の確認テスト
作業を行う効率の良い立ち位置	制動用ブレーキ調節	六輪車	円背	車いすの回転半径	
ヒューマンエラー・マシンエラー(安全な物の提供で安心が得られる)、部品の名称を明確にする、車いすの点検の仕方	点検の仕方と注意点、確認の重要性、手順と構造	適合の意味、身体状況、使用環境、使用目的に合わせる、リフトデマリット、使用する事に慣れて頂く	日本人平均的座幅寸法 男341 女348、クッション入りの寸法、低床、アームサポート調整	車いすの重心、視点、力点、作用点、転倒注意	まだまだ考える、自分の理解力を高める
前回の再確認ができた	前回の再確認ができた	クッション 3D形状	車いすは移動が目的	垂線と支点、重心、通路最小回転、通行直角	選択肢が無いと正解率が低い
営業ツールとして受講したが、強い武器にできるよう、もっと取り組まないといけないと思った		デマリットに関する説明の重要性を改めて感じた	「なぜが」という原因がわかれば説明もスムーズに説得力のある説明&提案ができると感じた	メンテナンスにおいて知っておかなければならない項目ばかりだと痛感した	車いすクッションの説明がすごく楽になった
安全があったうえでの安心			二次障害		
整備にあたっては、手順だけでなく、それぞれの役割を理解する事が必要		適合する福祉用具を選定する事	二次障害	後方転倒	
各箇所のねじの締め具合、車いす構造、タイヤ空気		使用目的での分類	身体に適した寸法	キャストハウジングの角度、重心の位置	
意外に力が必要	難しい				
ブレーキメンテナンス	フットサポートメンテナンス	車いす分類の知識	座面、座幅、前座高	車いすの重心、支点、力点、作用点	
ブレーキ調整	背折れジョイント、ガタツキ、ねじの緩み	使用目的	二次障害	重心	
車いす安全整備士を受けていたからこそ、わかった		状況の理由はいくつかの要因が重なり合っていると良くわかった			人に伝える際の重点について、考えをまとめる事が大変
空気圧調整(虫ゴムとスーパーバルブ)	フットサポートの調整の仕方	駆動性・適合性	二次障害	後方転倒	
適合	バルブナット	駆動性と居住性	二次障害	支点・力点・作用点	